

3.9.1.3 WHO飲料水水質ガイドライン2003年検討項目の使用量

WHO飲料水水質ガイドライン2003年検討項目20種の内使用量の多かった農薬は、フェニトロチオン(3位)、エンドサルファン(24位)、マラソ(25位)、NAC(30位)、ジメトイト(45位)でそれ以外の農薬の使用量は低かった。

3.9.1.4 環境庁ゴルフ場使用農薬の暫定指導指針農薬使用量

環境庁ゴルフ場使用農薬の暫定指導指針10種農薬の使用量は、いずれの農薬も使用順位100位以内に入っている、チオジカルブ(37位)、エトフェンプロックス(27位)、アゼキシストロピオン(37位)、ホセカル(25位)、ポリカーバメート(29位)、ショデュロン(47位)の6種が50位以内であった。

また、指導指針項目に入らなかった、チオファネートメチル、ペノミルの使用順位も高かった。

3.9.2 平成13年度農薬の検出状況

3.9.2.1 検査対象農薬

検査対象農薬は、殺虫剤26、殺菌剤19、除草剤38、その他3種の合計86種であり、未規制農薬は42種である。

平成13年度から、ベンフラカルブ、ピリプロキシフェン、ジクロベニル、ジクロロプロップ、アトラジンの5種の農薬の検査を開始した。

なお、5月下旬より從来HPLCで測定していた7項目を順次液マスでの測定に移行した。

3.9.2.2 室生ダム流入水の検出状況

平成13年度12月末までの室生ダム流入水(高倉橋)の検出状況は、28種(殺虫剤8、殺菌剤5、除草剤13、その他2種)であった。その他、流入小河川、上流河川ではこれ以外に8種の農薬が検出された。

検出頻度の高かったのは、殺虫剤では、ダイアジノン、フェニトロチオン、フェノプロカルブ、カルボフラン、殺菌剤では、イリプロチラン、イプロベンゾス、ピロキロン、除草剤では、チオベンカルブ、ベンタジン、2-4-D、シメトリソ、ジクロベニルであった。ベンタジンについては、すべての検査日において検出された。上流河川では、オキサジアジンが低濃度ではあるが依然検出されていた。

検出濃度が高かったのは、殺虫剤では、ダイアジノン $1.1 \mu\text{g/L}$ 、フェニトロチオン $1.1 \mu\text{g/L}$ 、フェノプロカルブ $0.97 \mu\text{g/L}$ 、ピリプロキシフェンチオン $1.6 \mu\text{g/L}$ であった。殺菌剤ではイリプロチラン $1.7 \mu\text{g/L}$ 、イプロベンゾス $3.7 \mu\text{g/L}$ 、ピロキロン $3.5 \mu\text{g/L}$ であった。除草剤では、チオベンカルブ $4.5 \mu\text{g/L}$ 、ベンタジン $0.99 \mu\text{g/L}$ 、2-4-D $3.2 \mu\text{g/L}$ 、メコナセット $1.7 \mu\text{g/L}$ 、ダイムロン 1.3

$\mu\text{g/L}$ 、グリホサート $2.7\mu\text{g/L}$ であった。

2-4-Dについては従来 $0.2\mu\text{g/L}$ 程度であったが、今年度は4月に $3.2\mu\text{g/L}$ 検出した。ピリターフエンチオン、グリホサートは過去最高値を示した。ピリプロカルブが、平成13年度に初めて流入水(高倉橋)で検出され、イソプロカルブ、ジチオルも上流河川で初めて検出された。

また、HPLCから液マスへの移行に伴い、カルボフランが5月下旬～9月初旬まで(最高濃度 $0.6\mu\text{g/L}$)検出されたのを初め、アセフェート、メミドオス、アシュラム(上流河川)が微量であるが検出されることが確認された。

3.9.2.3 原水の検出状況

原水の検出状況は、15種(殺虫剤4、殺菌剤3、除草剤8種)であった。例年に比べ殺虫剤、殺菌剤の検出例が少なかった。

検出頻度が高い農薬は、ダム流入地点と同様であったが、最高濃度は、 $1/3$ 程度であった。ダム流入水で検出回数の少ない農薬及び、検出濃度が低い農薬は検出されなかった。

検出濃度の高い農薬は、ピロキロン $1.1\mu\text{g/L}$ 、イソペニス $0.89\mu\text{g/L}$ 、チオベンカルブ $0.75\mu\text{g/L}$ 、イソプロチラン $0.40\mu\text{g/L}$ 、ベンタゾン $0.37\mu\text{g/L}$ で、ダイアジノン、フェノブカルブ、シメリソ $0.3\mu\text{g/L}$ 程度検出された。

また、HPLCから液マスへの移行に伴い、メコプロップが原水で初めて $0.10\mu\text{g/L}$ 検出された。

3.9.2.4 淨水の検出状況

原水の検出状況は、8種(殺虫剤3、殺菌剤2、除草剤3種)であった。

検出頻度の高い農薬は、ダイアジノン、フェノブカルブ、カルボフラン、イソペニス、ピロキロン、ベンタゾン、2-4-Dであった。ベンタゾンについては、殆どすべての検査日において検出された。

検出濃度の高い農薬は、ピロキロン $0.89\mu\text{g/L}$ 、イソペニス $0.40\mu\text{g/L}$ 、ダイアジノン $0.25\mu\text{g/L}$ 、フェノブカルブ $0.22\mu\text{g/L}$ 、ベンタゾン $0.17\mu\text{g/L}$ であった。

なお、THM、ジクロロ酢酸低減化対策として、8月6日～10月18日まで粉末活性炭を注入したが、ベンタゾンは、注入期間中全て、活性炭処理後の原水で検出され、最高濃度注入時(ドライ換算 25ppm)でも、 $0.02\mu\text{g/L}$ 程度残存した。また、低濃度注入時(8ppm)では、フェノブカルブ、2-4Dがやや残存した。

3.9.3 原水検出農薬のADIに対する累加寄与率

我が国では、現在44項目(基準項目4項目、監視項目18項目、ゴルフ場使用農薬26項目)の農薬が、規制対象であるが、未規制の農薬が数多く使用されている。本県では、

平成12年度に255種の農薬が出荷され、その内検査を実施している農薬は86種である。農薬の検出状況は、多い時には同時に20種近くの農薬が検出され、その内半数が未規制農薬であった。

一方、水質基準値（指針値を含む）は、個々の農薬について設定されており、検出された農薬が基準値以下であっても、複数の農薬を同時に接種した時の健康影響は明らかにされていない。

複数の農薬を接種した時に、相加的に作用するものか、相乗的に作用するものか、あるいは低濃度であれば無作用であるかは不明であるが、個々の農薬が水質基準の基となっているADI値の何パーセントに当たるかを計算し、それを相加したものを累加ADI寄与率として評価をしてみた。

平成4年～13年までの原水検出農薬の累加ADI寄与率の最大値の平均は、4.5%であった。平成12年度が12.1%と最も高く、平成13年度は過去10年間では低い方で2.6%であった。

ダム流入河川の過去10年間の最大値の平均は、10.8%であり、最大年は、平成11年の21%で、平成13年度は10.9%で10年平均とほぼ同じ値であった。農薬の公共用水への流出量は、降雨と密接な関係にある。本年の原水濃度が低かったのは、本年は渇水年であり、農薬散布直後に降水がなく、高濃度の農薬がダム（原水はダムより直接取水）に流入しなかったためと考えられる。

表3.9.1 奈良県内農薬原体出荷量 (単位 t)

殺虫剤			殺菌剤		除草剤	
順位	農薬名	12年	農薬名	12年	農薬名	12年
1	臭化メル	54.668	硫黄 水和	18.972	塩素酸塩	18.250
2	マシン油	9.495	石灰硫酸	14.476	グリホサートアンモニウム塩	11.644
3	MEP	6.881	ダゾーメット	13.328	ベンチオカーポ	5.142
4	DMTP	5.922	ジネブ	11.592	グリホサートイソプロピルアミン塩	3.341
5	カルタップ	5.883	IBP	6.363	グルホシネット	2.935
6	ダイアジン	5.555	ピロキロン	6.233	ダイムロン	2.793
7	D-D	5.247	チオファネートメル	5.271	メフェナセット	2.026
8	アセフェート	4.905	マンセブ	4.292	エスプロカルブ	1.788
9	BPMC	4.562	チアジ・アジン	3.150	ベンゾフェナップ	1.764
10	DDVP	3.835	TPN	3.022	ピリプロカルブ	1.510
11	エチルチオメトン	3.220	硫酸銅	2.857	ジクワット	1.263
12	MPP	3.173	プロペナゾール	1.932	プレチラクロール	1.091
13	メソミル	2.940	EDDP	1.542	カフェンストロール	1.047
14	クロルピクリン	2.587	メプロニル	1.516	ジメビペレート	0.950
15	イソキサチオン	2.342	トルクロホスマチル	1.460	パラコート	0.795
16	ブロフェシン	2.333	イソプロチオラン	1.451	ビフェノックス	0.518
17	MIPC	2.286	マンネブ	1.300	ベンタゾン	0.479
18	DEP	2.102	銅	1.262	ピラゾレート	0.476
19	ピリダベンチオン	1.945	ペノミル	0.975	ベンスルフロンメル	0.437
20	ベンフラカルブ	1.753	キャプタン	0.968	MCPP	0.412
21	クロルピリホス	0.834	プロビネブ	0.770	CAT	0.400
22	EPN	0.821	有機銅	0.753	トリフルラリン	0.397
23	アセミブリト	0.679	オキシテラサイクリン	0.731	2,4 PA	0.366
24	ベンゾエビン	0.675	ベンジクロン	0.702	アシュラム	0.351
25	マルゾン	0.630	ホセチル	0.662	シハロホップブチル	0.276
26	ジメチルビンホス	0.474	イプロジオン	0.650	オルソベンカーブ	0.270
27	エトフェンプロックス	0.464	トリアジメホン	0.580	プロマシル	0.250
28	メチルイソチオシアネート	0.460	チウラム	0.544	ブタミホス	0.249
29	BPPS	0.414	ホリカーバメイト	0.525	DCMU	0.228
30	NAC	0.394	イミノクタジンアルペシル酸	0.520	アラクロール	0.215
31	PAP	0.240	フサライト	0.442	ACN	0.207
32	ハミドチオン	0.222	銅 水和	0.441	プロジアミン	0.189
33	プロオホス	0.210	ヒドロキシイソキサゾール	0.435	シメトリン	0.174
34	クロルフェナビル	0.210	フルトラニル	0.416	DPA	0.150
35	ケルセン	0.200	トリフルミゾール	0.400	ピアラホス	0.126
36	イミダクロブリト	0.187	オキソリニッケ酸	0.383	テニルクロール	0.123
37	チオジカルブ	0.182	アゾキシストロビン	0.357	レナシル	0.120
38	CYAP	0.180	ピテルタノール	0.299	イマゾスルフロン	0.109
39	DCIP	0.180	フェリムゾン	0.283	イソキサベン	0.100
40	酸化フェンプロタスス	0.175	ペフラゾエート	0.224	DBN	0.084
41	メタルデヒド	0.156	DBEDC	0.220	グリホサートトリメシウム塩	0.076
42	シラフルオフェン	0.154	クレソキシムメチル	0.219	MCPB	0.073
43	チオシクラム	0.154	フラメトピル	0.213	ベンティメタリン	0.072
44	カルボスルファン	0.121	硫黄	0.200	DCPA	0.070
45	ジメトエート	0.120	ジチアノン	0.173	ベントキザゾン	0.058
46	酒石酸モランテル	0.104	トリシクラゾール	0.157	プロモブチト	0.050
47	フェニソプロモレート	0.090	メトラキシル	0.152	ジデュロン	0.050
48	カーバム(Na塩)	0.090	プロジミン	0.150	カルブチレート	0.048
49	PHC	0.090	メトミストロビン	0.135	ベンフレセート	0.048
50	硫酸ニコチン	0.080	ホリオキシン	0.115	IPC	0.046

表3.9.2 宇陀川水系室生ダム流域農薬原体出荷量 (単位 kg)

殺虫剤		殺菌剤		除草剤	
順位	農薬名	12年	農薬名	12年	農薬名
1	D-D	472.000	タツメット	519.400	ベンチオカーフ
2	臭化メタル	272.125	IPB	343.245	塩素酸塩
3	エチルチオメトン	124.850	ヒロキロン	147.030	ケリホサートアンモニウム塩
4	フセフェート	95.500	フェリムゾン	76.200	メフェナセット
5	MPP	82.980	硫酸銅	59.100	ジクリット
6	ダライシノン	76.455	フサライト	57.375	ベンゾフェナップ
7	DDVP	64.706	EDDP	52.125	トリフルラリン
8	メチルイソチオシアネット	60.000	アロペナゾール	41.856	ハラコート
9	ベンフラカルブ	58.075	TPN	41.560	ACN
10	BPMC	51.600	メロニル	36.630	ケルホシネット
11	MEP	47.350	カルプロハミト	35.800	ベンタゾン
12	メソミル	39.060	マンゼブ	34.705	ジメビペレート
13	エトフェンプロックス	30.180	メトミノストロビン	24.600	プロマシル
14	ジメチルビンホス	23.820	石灰硫黃	18.370	ベンスルフロンメチル
15	イミダクロブリト	19.440	チオフェネートメチル	11.585	プロチラクロール
16	マシン油	17.100	ホリカーハメイト	9.750	シメトリン
17	DEP	12.970	ヒロキシイソキサイゾール	9.100	アラクロール
18	マラソン	8.150	ヘノミル	6.910	レナシル
19	ベンゾエビン	7.050	銅	6.290	テニルクロール
20	PAP	6.150	トリシクラゾール	5.955	2,4 PA
21	クロルビクリン	4.900	オキソリニック酸	5.920	シハロホップフルチル
22	カルタップ	4.665	イソプロヂオラン	5.760	ダイムロン
23	EPN	3.600	ジネフ	5.040	MCPB
24	NAC	2.985	ホセチル	4.800	カフェンストロール
25	ヘルメトリン	1.760	プロビネフ	3.500	アシュラム
26	DMTP	1.280	イソロシオン	3.250	ビリブチカルブ
27	メタアルテヒド	1.122	DBEDC	2.300	CAT
28	イソキサチオン	0.900	キャブタン	2.200	ベンゾテイメタリン
29	酸化フェンプロタスス	0.700	有機銅	2.100	IPC
30	クロルフルアスロン	0.620	アロジミトン	1.950	ビアラホス
31	ケルセン	0.600	トリフルミゾール	1.635	DBN
32	シベルメトリン	0.552	メタラキシリル	1.508	ベンントキサイゾン
33	クロルフェナビル	0.530	プロクロラス	1.465	ケリホサートイソプロピルアミン塩
34	ヒリタヘン	0.400	マンネフ	1.125	ビリビナバクメチル
35	デリス	0.385	オキサジキシリル	1.072	ベンフレセット
36	フェンハレート	0.340	チカラム	0.860	オキサジクロメホン
37	除虫菊乳剤	0.330	ハリタマイシン	0.827	DPA
38	チオメトン	0.250	キノキサリン	0.700	セトキシジム
39	アラニカルブ	0.200	フライメビル	0.675	MCP
40	ニテンビラム	0.180	ジチアノン	0.525	DCMU
41	エマメクチン	0.110	ジエトフェンカルブ	0.425	ビラゾスルフロンエチル
42	フルハリネット	0.100	カスガマイシン	0.310	ビスピリバックナトリウム塩
43	ホサロン	0.100	テクロフタラム	0.180	MCPP
44	テトラジホン	0.080	ストレブトマイシン	0.150	フェノチオール
45	フェンプロキシメート	0.075	アゾキシストロビン	0.100	
46	アセタミブリト	0.060	トリアシメホン	0.055	
47	ジメトエート	0.060	オキシテラサイクリン	0.017	
48	テフルベソロン	0.060			
49	アプロロフェジン	0.050			
50	ヘキサチアゾクス	0.015			

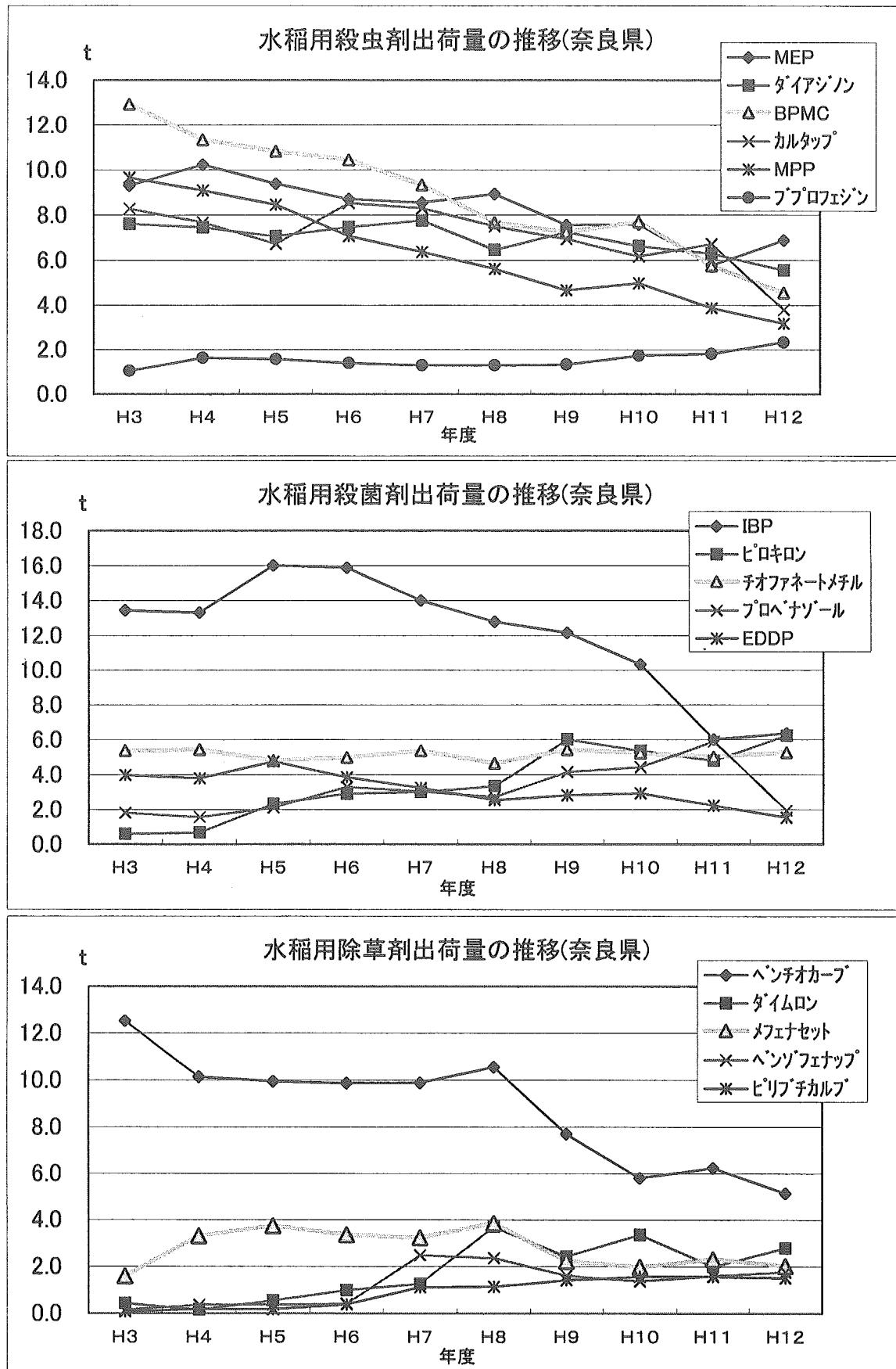


図3.9.1 奈良県下の水稻用農薬の出荷量の推移

表3.9.3 平成13年度奈良県検出農薬

検査地点		落合		下井足		内牧川		高倉橋		桜井原水		桜井浄水	
		回数	最大値	回数	最大値	回数	最大値	回数	最大値	回数	最大値	回数	最大値
用途	農薬名／回数	9		9		16		17		28		28	
殺虫	ダイアジノン	4	0.96	3	0.69			8	1.1	15	0.27	5	0.25
殺虫	フェニトophon	3	0.37					6	1.1	9	0.15		
殺虫	フェノカルブ	8	0.4	4	0.27	7	1.7	12	0.97	18	0.29	11	0.22
殺虫	カルボフラン	6	0.7	3	0.21	5	0.08	7	0.6	9	0.07	7	0.07
殺虫	ピリダーフエンチオン							1	1.6				
殺虫	セフェート							1	0.08				
殺虫	ソプロカルブ			1	0.03	1	0.02						
殺虫	フェンチオン	2	0.03			2	0.04	1	0.05				
殺虫	プロポキシル	1	0.03	1	0.02			1	0.01				
殺虫	ジメチルビンホス					2	0.17						
殺菌	ソプロチオラン	3	0.72	3	2.9	5	0.68	8	1.7	9	0.4		
殺菌	ソプロベンホス	4	1.7	2	1.9	4	0.82	7	3.7	10	0.89	6	0.4
殺菌	フルトラニル			1	0.08			1	0.03				
殺菌	メチロニル					2	0.47						
殺菌	プロロバナゾル	1	0.5	1	0.1	1	0.3	1	0.3				
殺菌	ピロロキン	4	1.9	4	2.3	5	2	7	3.5	12	1.1	6	0.89
除草	シマジン	1	0.11					2	0.07				
除草	チオベンカルブ	5	4.8	3	1	6	3.1	7	4.5	16	0.75		
除草	ベンタゾン							17	0.99	26	0.37	22	0.17
除草	2,4-D							9	3.2	11	0.06	9	0.08
除草	7シユラム			1	0.07								
除草	ペングメタリン	1	0.02										
除草	メコプロップ									5	0.1		
除草	ジオオビル			2	0.01								
除草	ピリブチカルブ	1	0.16			1	0.11	2	0.11				
除草	シメトリル	3	0.74	1	0.56	5	0.78	5	0.83	7	0.29		
除草	オキサジアゾン	1	0.05			1	0.02						
除草	メフェナセット	1	2.2	1	0.8	2	0.9	3	1.7				
除草	エスプロカルブ	1	0.22	1	0.39	3	0.27	4	0.31	4	0.05		
除草	プロレチラクロール	1	0.9			2	0.5	3	0.8				
除草	ダイムロン	2	0.9	1	1.4	1	0.7	3	1.3				
除草	ジメピペレート	2	1.7	1	0.05			3	0.91	7	0.04		
除草	グリホサート							1	2.7				
除草	ジクロペニル	2	0.02	1	0.01			6	0.04	3	0.01	1	0.01
代謝	アミメチルリン酸							2	0.1				
代謝	メタミドホス							1	0.11				

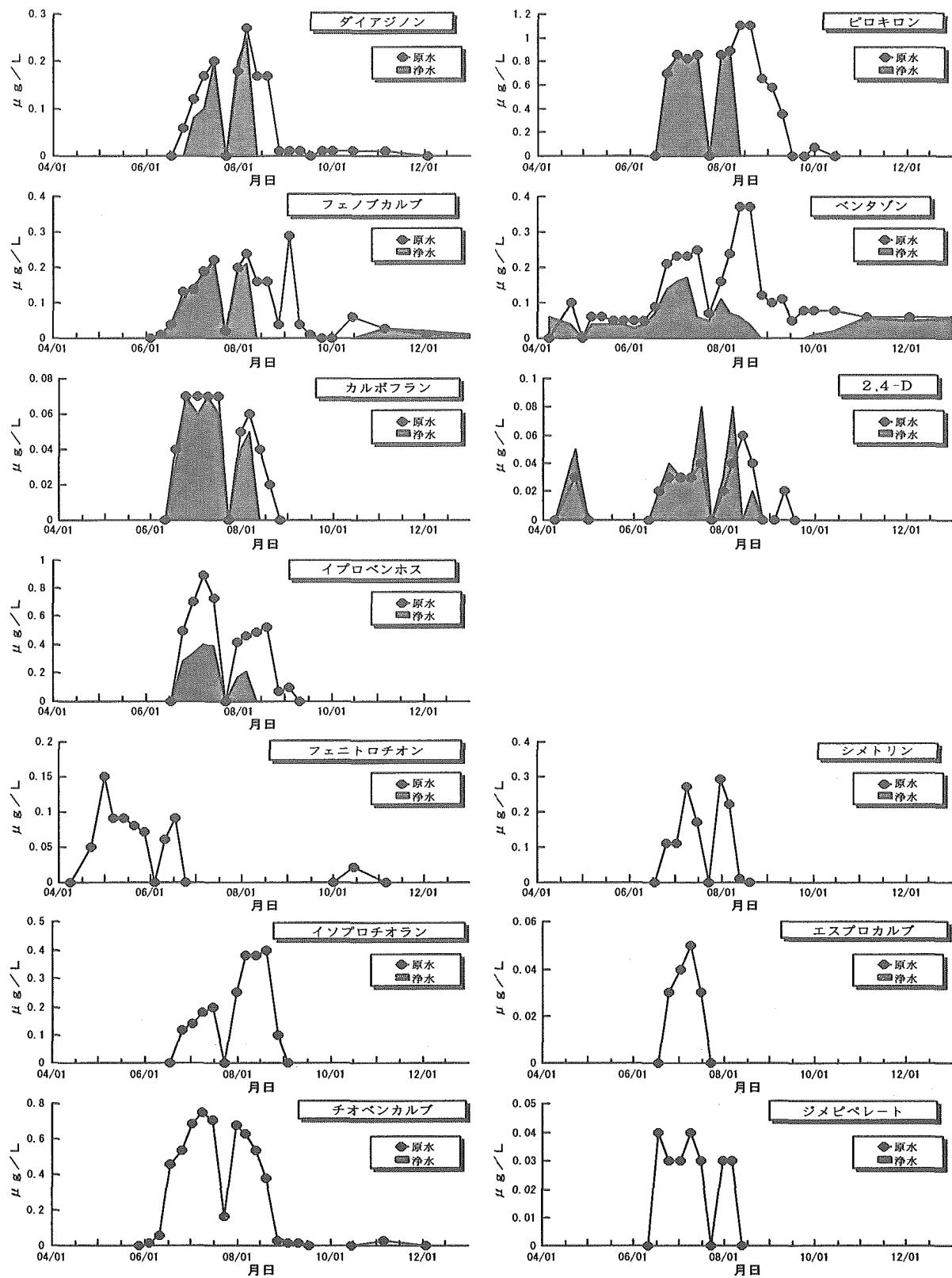


図3.9.2 桜井浄水場原水、浄水の農薬の検出状況

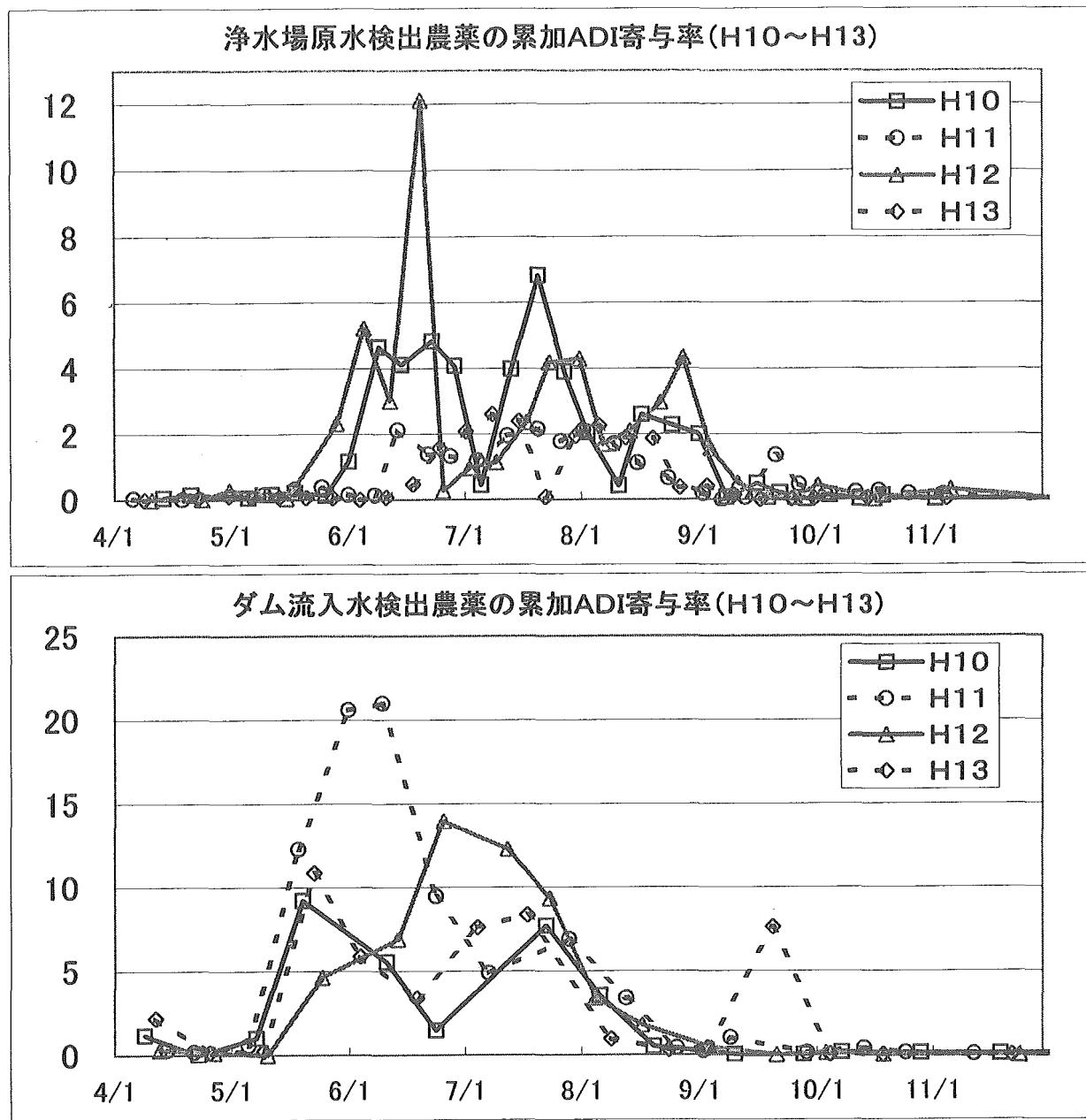


図3.9.3 清水場原水とダム流入水検出農薬の累加ADI寄与率

表3.9.4 清水場原水とダム流入水検出農薬の累加ADI寄与率の最大値と最大値検出日

年度	原水(ダム直接取水)		高倉橋(ダム流入水)	
	最大日	累加ADI%	最大日	累加ADI%
4	6月26日	1.7	7月27日	5.1
5	7月5日	2.7	7月26日	9.2
6	8月2日	5.3	7月12日	6.0
7	7月3日	3.6	6月5日	7.2
8	7月15日	3.1	5月23日	12.0
9	6月24日	5.0	7月3日	13.8
10	7月21日	6.8	5月20日	9.2
11	7月21日	2.2	6月10日	21.0
12	6月20日	12.1	6月26日	14.0
13	7月9日	2.6	5月23日	10.9

3.10 広島市水道局における農薬実態調査

3.10.1 水源の状況

本市水道局の主要な水源は、本市を貫流し、広島湾に注ぎ込む太田川とその太田川に流入する江の川水系の土師ダム貯水池の分水である。太田川は西中国山地を発し多くの支流と合流しながら流れ一方、4つのダム貯水池（発電用ダム3、多目的ダム1）があり、ダム発電放流水は導水管を通して、短時間で本市取水口に到達する。

本市の主要な3つの浄水場は、広島湾より約 10～15 km 上流部にある取水口から太田川表流水を取水し、凝集沈殿、急速ろ過方式で処理し、市内各所に給水している。

太田川と土師ダム貯水池上流域を合わせた水源流域面積は約 1800 km² で広島県の約 1/5 を占めている。流域市町村の耕地面積は約 65 km²、そのうち水田は約 56 km² である。

平成 12 年の取水口付近における河川流量は豊水量 554 万 m³/日、平水量 358 万 m³/日、低水量 234 万 m³/日である。

また、水源上流域の農業地域類型区分は「広島農林水産統計年報 平成 12～13 年度」によると太田川の上流域は山間農業地域、水田あるいは田畠型、中流域は中間農業地域又は都市的地域、水田あるいは田畠型に分類され、土師ダム貯水池上流域は山間農業地域、水田型に分類されている。

ゴルフ場は太田川水系の最上流から取水口付近までに 7 つ、土師ダム貯水池上流域に 2 つあり、そのほとんどが支流の最上流部に位置している。

3.10.2 農薬販売量（出荷量）及びゴルフ場における使用状況

本市水源上流域の使用量（販売量とゴルフ場使用量の合計）と広島県における出荷量のうち殺菌剤、殺虫剤、除草剤の各上位 50 位を表 3.10.1～3.10.3 に示す。

3.10.2.1 田畠における販売量

本市水源流域の田畠に用いられる農薬の平成 8～12 年度販売量は、殺菌剤約 17～24 t、殺虫剤は約 18～24 t、除草剤は約 19～22 t となっている。平成 8～12 年度において殺菌剤は減少傾向であり、殺虫剤及び除草剤は年により増減がみられるが大きな変動はない。

この中で恒常に多く販売されている農薬は、

殺菌剤：プロペナゾール、フサライド、メプロニル等

殺虫剤：M E P、X M C、マシン油等

除草剤：塩素酸ナトリウム、ベンチオカーブ、グリホサートイソプロピルアミン塩等

最近販売量が増加傾向にある農薬は、

殺菌剤：ダゾメット、カルプロパミド

殺虫剤：クロルピクリン、イミダクロプリド

除草剤：カフェンストロール、ペントキサゾン

最近販売量が減少傾向にある農薬は、

殺菌剤：I B P、ジネブ、イソプロチオラン

殺虫剤：B P M C、臭化メチル、カルタップ

(急激な減少がみられるもの)：ブプロフェジン、D M T P、カルボスルファン

除草剤：特に減少傾向のものはみられない。

となっている。

3.10.2.2 ゴルフ場における使用量

水源流域のゴルフ場で平成 9～12 年度に使用されている農薬原体総量は殺菌剤 0.4～1.3 t で平成 11～12 年度は減少傾向にある、殺虫剤は 0.2～0.4 t、除草剤は 0.4～0.5 t であり、双方とも毎年同量程度使用されている。なお、ゴルフ場間で同じ農薬を使用している例は少ない。

3.10.3 検出状況

太田川について本市水道局浄水場の取水口 3か所と取水口上流 5か所の計 8か所で、水質基準項目、監視項目、ゴルフ場使用農薬及び公共用水域等における農薬の水質評価指針項目からプレチラクロール、フサライドを年 4 回測定している (5、8、11、2月)。また、主要浄水場の原水、浄水及び市内給水栓水で水質基準項目、監視項目を月 1 回測定している。

表 3.10.4 に示すように、平成 13 年度 (12 月まで) の水源流域における農薬測定結果ではイソプロチオラン、B P M C、ベンタゾン、メプロニル、プレチラクロールが検出している (濃度範囲は 0.0001～0.0005mg/L、検出頻度 1～4/15)。また、主要浄水場の原水及び浄水でベンタゾンが検出している (濃度範囲は 0.0001～0.0002mg/L、検出頻度 6/36 及び 1/27) が、市内給水栓水ではすべて不検出である。

3.10.4 今後の課題

農薬使用量調査の結果から殺菌剤、殺虫剤、除草剤とも稻作に使用されているものが販売量の上位の位置にあった。そこで、平成 14 年度は現在の測定項目に加えて稻作に使用されている農薬で固相抽出-G C / M S による測定が可能な

殺菌剤：プロペナゾール、トリシクラゾール、E D D P、フラメトビル

殺虫剤：エトフェンプロックス、シクロプロトリン

除草剤：メフェナセット、エスプロカルブ、クミルロン、シハロホップブチル

の 10 項目の中から散布時期を考慮して、月 1 ~ 2 回の頻度で取水口 3 か所、取水口上流 5 か所、3 済水場の原水及び済水におけるモニタリングを計画している。また、販売量と農薬の A D I から作成した農薬評価リストからリスクが高いもののうち、固相抽出 - G C / M S による測定が可能なものもモニタリングに加えることを検討している。

取水口付近の河川流量と農薬販売量から推測するとモニタリング地点での農薬の検出は難しいと考えられるため、比較的水田地帯の多い小河川の調査を行い、その結果から取水口周辺における農薬濃度の予想モデルの開発を試みる。

これらのことを行うにあたっては、当面の課題として

- ① 新たにモニタリング項目とするものの測定方法の確立をする。
- ② 前処理、装置の感度などを見直して、できるだけ定量下限値の濃度を下げる。
- ③ 太田川上流域と土師ダム貯水池流入域の県北部は広島市のある県南部と比べ 2 週間程度稻作時期が早いことから、各農協の稻作暦などを参考に散布農薬、地域及び時期を把握する。

また、本市では農薬汚染に対して個々の農薬で水質管理を行ってきた。今後は測定した農薬の総量での水質管理も考えていきたい。

表3.10.3 広島市上流域及び広島県農薬原体出荷量(除草剤) (単位 t)

検査項目	順位	農業名	平成8年	9年	10年	11年	12年	広島県2000	広島県2001	商品名
*	1	塩素酸ナトリウム	5.673	7.101	6.587	4.372	6.486	74.160	72.980	クサトールFP等
*	2	ペチカーブ	4.470	4.813	3.280	3.303	3.027	20.006	18.483	クミリードSM等
*	3	グリセオトリアブローリング塩	1.255	1.262	1.830	1.874	1.134	47.591	18.759	ラウンドアップ等
*	4	グリセオトリアブローリング塩	0.726	0.599	0.856	0.904	1.129	9.280	8.658	ザークD等
*	5	エラセット	1.792	1.472	1.142	1.011	1.061	8.134	8.225	ザークD等
*	6	アラクロール	1.210	1.354	0.906	0.783	0.892	8.906	8.341	エリジョン
*	7	ペクタクロール	0.434	0.732	1.027	0.977	0.890	4.691	4.278	グラスジンM、バサグラン
*	8	ペクタフナップ	1.269	1.428	1.190	1.118	0.816	5.120	3.920	ユニハーブ
*	9	ジクト	0.518	0.492	0.433	0.529	0.471	1.682	6.548	ブリグロックスL、マイゼット
*	10	ラブロル	0.595	1.613	0.489	0.534	0.423	6.622	3.923	スパークスター1キロ
*	11	ピラクチカルブ	0.331	0.416	0.423	0.351	0.399	5.621	4.899	シング
*	12	シカリソ	0.501	0.526	0.386	0.349	0.345	2.191	2.086	クミリードSM
*	13	パラコート	0.361	0.351	0.309	0.377	0.336	1.120	4.625	ブリグロックスL、マイゼット
*	14	グリシート	0.392	0.437	0.369	0.317	0.325	5.130	4.478	バスター
*	15	カヌスロール	0.000	0.013	0.072	0.161	0.283	1.850	2.097	ジョイスターL
*	16	ラカル	0.000	0.000	0.000	0.000	0.243	0.709	草笛ジャンボ	
*	17	ペントキサソ	0.000	0.000	0.071	0.168	0.204	0.766	1.086	ベクサー
*	18	ラヨシル	0.163	0.207	0.141	0.168	0.184	0.885	1.426	ボロシル
*	19	2,4-PA	0.442	0.165	0.119	0.155	0.166	4.092	3.427	2,4-D
*	20	MCPAアカル	0.000	0.000	0.001	0.000	0.154			ヤマクリーンM
*	21	トライカル	0.344	0.133	0.116	0.138	0.154	1.975	1.617	トレファノサイド
*	22	MCPAイソブローミン	0.000	0.014	0.008	0.000	0.141	0.040	0.120	イネグリーンロ1キロ、プラスコン
*	23	ペクタプロミチル	0.126	0.155	0.102	0.115	0.139	1.134	1.090	ウルフェース1キロ
*	24	カケカケアカル	0.000	0.003	0.042	0.056	0.135	0.965	1.210	ジョイスターL
*	25	MCPBエカル	0.199	0.208	0.147	0.144	0.126			クミリードSM
*	26	カケアカル	0.105	0.125	0.115	0.136	0.124			バックアップ
*	27	DCMU	0.07	0.100	0.107	0.096	0.080	10.119	9.972	DCMU、クサウロン 等
*	28	MCPP-K	0.042	0.055	0.101	0.089	0.078	1.794	2.662	M CPP
*	29	アツミ	0.011	0.063	0.066	0.068	0.072	0.850	3.256	アージラン
*	30	ピラホス	0.091	0.092	0.064	0.069	0.069	1.181	1.313	ハーピー
*	31	アガリクサン	0.000	0.007	0.006	0.021	0.067	0.081	0.665	テマックス(日産)
*	32	グリセオトリメチウム塩	0.053	0.018	0.118	0.059	0.057	0.179	1.317	タッチダウン
*	33	ラゾソ	0.000	0.060	0.042	0.037	0.055	0.209	0.394	グラミックス
*	34	ACN	0.025	0.031	0.032	0.087	0.044	0.558	0.688	モゲトン
*	35	DPA	0.048	0.035	0.038	0.055	0.039	7.994	7.680	クサノン 等
*	36	レジル	0.000	0.036	0.069	0.045	0.039	0.080	0.080	レンザー
*	37	ペクタセト	0.000	0.014	0.035	0.027	0.038	0.706	0.866	ザーベックスSM
*	38	DBN	0.062	0.035	0.046	0.046	0.038	1.043	0.975	ガソロン
*	39	アロガミド	0.000	0.081	0.064	0.051	0.036	0.450		アグロマックス、カーブ
*	40	CAT	0.071	0.039	0.033	0.029	0.033	0.615	0.722	シマジン
*	41	ペクティメタリン	0.012	0.015	0.028	0.018	0.030	7.525	0.287	ゴーゴーザン
*	42	ジチビール	0.000	0.028	0.019	0.010	0.027	0.224	0.224	ディクトラン
*	43	ピペロス	0.128	0.061	0.066	0.026	0.024	0.745	0.606	クサノック
*	44	MCPアカル	0.043	0.039	0.034	0.032	0.024			グラスジンM
*	45	ジラソリソ	0.061	0.042	0.035	0.026	0.023	0.375	0.340	クサノック
*	46	ペクタソ	0.000	0.068	0.025	0.024	0.022			バナフィン顆粒
*	47	グリセオト	0.000	0.006	0.021	0.012	0.020	44.772		ランドマスター
*	48	トリフルフラム	0.000	0.000	0.031	0.024	0.018	0.090	0.060	イデトップ
*	49	ジバペレート	0.005	0.009	0.000	0.002	0.017	0.010	0.120	セスロン
*	50	ラカル	0.018	0.013	0.010	0.011	0.016	0.387	0.258	ラッソ

3.11 松山市公営企業局における農薬実態調査

3.11.1 愛媛県の農薬出荷量

1) 殺虫剤

愛媛県内における出荷量は、マシン油が他の農薬に比べて非常に多く（平成13年度878t）、殺虫剤全体の約70%を占めている。検査農薬の中では、フェニトロチオン、アセフェート、ピリダフェンチオンが多く出荷されている他、7農薬が50位内に入っている（表3.11.1）。

2) 殺菌剤

マンゼブ、マンネブが多くを占め（平成13年度 マンゼブ384t、マンネブ151t）、殺菌剤全体の約70%をしめている。検査農薬の中では、イプロベンホスが10位以内である他、11農薬が50位内に入っている（表3.11.2）。

3) 除草剤

グリホサートと塩素酸ナトリウムの出荷量が多い。検査農薬の中では、ベンチオカーブ、2,4-Dが比較的多く出荷されている他、8農薬が50位内に入っている（表3.11.3）。

なお、新規農薬の愛媛での出荷はなく、ゴルフ場新規農薬では、殺虫剤のエトフェンプロックスとチオジカルブが、殺菌剤のイミノクタジンとポリカーバメートが、除草剤のシデュロンが50位内に入っている。

3.11.2 農薬実態調査

松山市公営企業局では、河川水、地下水、伏流水を水源とし、4浄水場で浄水処理を行い給水を行っている。農薬調査は、それぞれの浄水場の原水及び浄水について月1回の基準項目検査、原水について年3回の監視項目検査を行っている。また、ゴルフ場使用農薬検査を、各原水及び浅井戸水について年1回行っている。検出状況は、各水源共に非常に少ない。

平成11年4月には、地下水を水源とする原水から、フェニトロチオンが1.3ug/l、浄水からフェニトロチオンオキソノンが0.8ug/l検出された。平成12年10月には、同じ原水より、ベンタゾンが0.1ug/l検出された。また、平成13年5月には、渇水期の応急水源である井戸水よりEPN0.9ug/lが検出された。

いずれも浅井戸水から検出されており、周辺が水田地帯であるため影響を受けたものと思われる。

3.11.3 まとめ

愛媛県内における農薬出荷量は、果樹用の農薬が多くを占めており、愛媛県の主要作物であるかんきつ類に使用されているものと思われる。松山市においては、水源地域に果樹園が少ないため、使用農薬に大きな違いがあると推定される。

また、A D I , 水溶解度を考慮に入れたプライオリティリストでは、殺虫剤についてはキナルホス, D M T P 及びピリダafenチオンが、除草剤についてジクワット, パラコートが、殺菌剤についてダゾメットが上位となる。これらの農薬の内では、数種類しか測定を行っておらず、新たに測定を行うことが望ましいと思われる（表 3.11.4）。

表3.11.1 愛媛県農薬出荷量リスト（殺虫剤）

検査項目	順位	原体名	平成13年度	ADI(mg/kg)	logPow	水溶解度	出荷量/ADI
	1	マシン油	878.262				
*	2	クロルピクリン	90.677			A	
	3	臭化メチル	71.854		2	A	
*	4	M E P	35.845		4	B	
	5	D M T P	29.996	0.0015	3	B	19997.3
	6	B T	26.914		1		
*	7	アセフェート	21.690	0.03	-1	A	723.0
	8	ケルセン	17.656	0.025	5	D	706.2
	9	M P P	7.484		5	C	
*	10	カルタップ	7.299	0.1		A	73.0
*	11	ビリダフェンチオン	6.280	0.00085	4	B	7388.2
*	12	ブプロフェジン	6.228	0.009	5	D	692.0
	13	キナルホス	5.360	0.00011	5	B	48727.3
*	14	D D V P	4.828	0.0033	2	A	1463.0
*	15	B P M C	4.602	0.012	3	B	383.5
*	16	N A C	4.575	0.02	2	B	228.8
	17	アセタミブリド	3.474	0.066	1	A	52.6
	18	エトフェンプロックス	2.938	0.03	8	D	97.9
	19	テトラジホン	2.927	0.06	5	D	48.8
*	20	エチルチオメトン	2.841	0.0015	4	B	1894.0
	21	イミダクロブリド	2.747	0.084	1	B	32.7
	22	フェニソプロモレート	2.700	0.027	6	D	100.0
	23	フェノチオカルブ	2.695	0.0075	4	B	359.3
*	24	ダイアジノン	2.646	0.002	4	B	1323.0
	25	ベンスルタップ	2.492	0.034	3	D	73.3
	26	エトキサゾール	2.305	0.04	6	D	57.6
*	27	D E P	2.266	0.01	1	A	226.6
*	28	E P N	2.136	0.0023	6	D	928.7
	29	アミトラズ	2.040	0.0012	6	D	1700.0
	30	エチオン	1.936	0.005	6	C	387.2
	31	P A P	1.869	0.0015	4	B	1246.0
	32	B P P S	1.860	0.0083	4	B	224.1
	33	ビリダベン	1.740	0.0081	7	D	214.8
	34	ベンゾエピン	1.669	0.0075	5	D	222.5
	35	メソミル	1.533	0.0125	1	A	122.6
	36	チオジカルブ	1.288	0.03	2	B	42.9
	37	D C I P	1.270	0.13	3	A	9.8
	38	D-D	1.255		2	A	
	39	硫酸ニコチン	1.080				
	40	シラフルオフェン	1.055	0.11	9	D	9.6
	41	プロチオホス	1.042	0.0015	6	D	694.7
	42	ジメトエート	0.986	0.02	1	A	49.3
*	43	クロルピリホス	0.930	0.01	5	C	93.0
	44	フェンプロバトリル	0.920	0.027	6	D	34.1
	45	ベンフラカルブ	0.763	0.015	5	C	50.9
*	46	フィプロニル	0.627	0.0002	4	C	3135.0
	47	カーバム	0.600				
*	48	イソキサチオン	0.582	0.003	4	C	194.0
	49	マラソン	0.577	0.02	3	B	28.9
	50	C Y A P	0.560	0.001	3	B	560.0

* 太字は水汚濁性農薬

表3.11.2 愛媛県農薬出荷量リスト（殺菌剤）

検査項目	順位	原体名	平成13年度	ADI(mg/kg)	logPow	水溶解度	出荷量/ADI
	1	マンゼブ	384.290	0.00625	2	C	61486.4
	2	マンネブ	151.800	0.005		D	30360.0
	3	ダゾメット	40.278	0.0025	1	A	16111.2
	4	シプロコナゾール	28.208	0.0099	3	B	2849.3
	5	塩基性硫酸銅	25.951				
	6	チオファネートメチル	17.945	0.12	2	D	149.5
	7	石灰硫黄	16.236				
	8	硫酸銅	13.669				
*	9	I B P	10.026	0.003	4	B	3342.0
	10	フサライド	7.046	0.04	4	C	176.1
	11	硫黄	5.266				
	12	ジネブ	4.824	0.005	2	B	964.8
	13	プロシミドン	4.610	0.035	4	C	131.7
	14	E D D P	4.514	0.0025	4	B	1805.4
	15	ペノミル	4.390	0.009	2	C	487.8
	16	ジチアノン	3.989	0.01	4	D	398.9
	17	アゾキシストロピン	3.849	0.18	3	C	21.4
	18	イミノクタジン酢酸塩	3.788	0.0023	-3	A	1646.7
	19	フェリムゾン	3.661	0.0064	3	B	572.0
*	20	イプロジオン	3.589	0.12	3	B	29.9
*	21	T P N	3.316	0.018	3	D	184.2
*	22	オキシン銅	3.225	0.017	3	D	189.7
	23	ポリカーバメート	2.250	0.0075	1	D	300.0
*	24	フルアジナム	2.124	0.0038	4	C	558.8
	25	フルトラニル	1.826	0.08	4	C	22.8
	26	ストレプトマイシン	1.778			A	
	27	水酸化第二銅	1.682			D	
	28	イミノクタジンアルベシル酸塩	1.670	0.0023	3	C	726.1
*	29	イソプロチオラン	1.513	0.016	4	B	94.6
	30	塩基性塩化銅	1.454				
	31	カブロバミド	1.440		5	C	
	32	ホセチル	1.395	0.88	-3	A	1.6
*	33	キャプタン	1.364	0.125	3	C	10.9
*	34	ベンシクロン	1.347	0.017	5	D	79.2
*	35	メプロニル	1.289	0.05	4	B	25.8
	36	バリダマイシン	1.223			A	
	37	プロベナゾール	1.088	0.02	2	B	54.4
*	38	チウラム	1.057	0.0023	2	B	459.3
	39	トリフルミゾール	1.031	0.0185	6	A	55.7
*	40	トルクロホスメチル	0.675	0.0064	5	C	105.5
	41	カスガマイシン	0.493		2	A	
	42	ヒドロキシイソキサゾール	0.464	0.05	1	A	9.3
	43	チアジアジン	0.350	0.02		D	17.5
*	44	メタラキシル	0.340	0.019	2	A	17.9
	45	硫酸亜鉛	0.296			A	
	46	トリシクラゾール	0.265	0.03	2	A	8.8
	47	トリアジン	0.250	1.25	4	A	0.2
	48	炭酸水素カリウム	0.240			A	
	49	プロビネブ	0.210	0.0025	-1	D	84.0
	50	ジラム	0.164	0.005	2		32.8

* 太字は水汚濁性農薬

表3.11.3 愛媛県農薬出荷量リスト（除草剤）

検査項目	順位	原体名	平成13年度	ADI(mg/kg)	logPow	水溶解度	出荷量/ADI
	1	グリホサートイソプロビルアミン塩	28.700	0.15	-6	A	191.3
	2	塩素酸ナトリウム	14.650			A	
*	3	ダイムロン	6.965	0.3	3	C	23.2
	4	ジクワット	6.616	0.0019	-5	A	3482.0
	5	メフェナセット	5.921	0.0036	4	C	1644.8
*	6	ベンチオカーブ	5.218	0.009	4	B	579.8
	7	グリホサートトリメシウム塩	4.862	0.15	-5	A	32.4
	8	バラコート	4.680	0.002	-5	A	2340.0
	9	D C M U	4.595	0.00625	3	B	735.1
	10	グルホシネット	3.690	0.01	1	A	369.0
	11	トリフルラリン	2.863	0.024	5	D	119.3
*	12	2, 4-P A	2.804		1	A	
	13	エスプロカルブ	2.548	0.005	5	C	509.6
*	14	ペントゾン	2.230	0.09	-1	B	24.8
*	15	ビリブチカルブ	2.017	0.0075	6	D	268.9
	16	D P A	1.540			A	
*	17	トリクロビル	1.117		1	A	
	18	DB N	1.019	0.004	3	B	254.8
	19	プレチラクロール	0.962	0.015	5	B	64.1
	20	ターバシル	0.819	0.026	2	B	31.5
	21	シクロスルファムロン	0.798	0.03	2	C	26.6
*	22	シマジン	0.744	0.0013	3	C	572.0
	23	ビアラホス	0.684		-3	A	
	24	シデュロン	0.650		4	B	
*	25	ペンディメタリン	0.627	0.043	6	D	14.6
	26	A C N	0.529	0.0021	2	D	251.9
	27	ベンスルフロンメチル	0.526	0.14	1	B	3.8
	28	ピフェノックス	0.438	0.015	5	D	29.2
	29	D C B N	0.422		2	B	
	30	アラクロール	0.387	0.005	4	B	77.4
	31	プロマシル	0.338	0.019	2	B	17.8
	32	リニュロン	0.338	0.0021	3	B	160.8
*	33	アシュラム	0.333	0.072		A	4.6
	34	イマゾスルフロン	0.327	0.089	1	B	3.7
	35	テニルクロール	0.316	0.068	4	B	4.6
	36	ペントキサゾン	0.275	0.069	5	D	4.0
	37	テトラピオン	0.275		-2	A	
*	38	M C P P	0.274		1	B	
	39	アイオキシニル	0.270	0.005	1	B	54.0
	40	M C P	0.240		-1	B	
	41	シアナジン	0.238	0.0005	3	B	475.0
	42	アメトリン	0.225	0.0013	3	B	173.1
	43	グリホサートアンモニウム塩	0.198	0.15	4	A	1.3
*	44	ジチオビル	0.160	0.0031	5	C	51.6
	45	オルソベンカーブ	0.150		4	B	
	46	セトキシジム	0.140	0.14	2	A	1.0
	47	イソウロン	0.135	0.034	2	B	4.0
	48	ピラゾレート	0.132	0.002	3	D	66.0
	49	クロメブロップ	0.131	0.0062	5	D	21.0
	50	I P C	0.122	0.1	4	B	1.2

* 太字は水汚濁性農薬